

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-180726

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>F 16 C 33/66  
33/58

識別記号

庁内整理番号

Z-7617-3J  
7617-3J

⑭ 公開 昭和63年(1988)11月22日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 高速回転用ころがり軸受

⑯ 実 願 昭62-70977

⑰ 出 願 昭62(1987)5月14日

⑱ 考 案 者 岸 吉 則 東京都港区芝大門1丁目9番1号 日本エスケイエフ株式会社内

⑲ 出 願 人 日本エスケイエフ株式会社 東京都港区芝大門1丁目9番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 藤 岡 徹

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 同心に配された外輪及び内輪と、該外輪と内輪との間の環状空間に配された複数の転動体とを備え、

外輪及び内輪の少なくとも一方には、転動体と間隙を保つ領域に、外部から潤滑剤を供給するために転動体に指向するノズル孔が穿設されている、

こととする高速回転用ころがり軸受。

- (2) ノズル孔は軌道面に設けられていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の高速回転用ころがり軸受。

- (3) ノズル孔は外輪に穿設されていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項または第

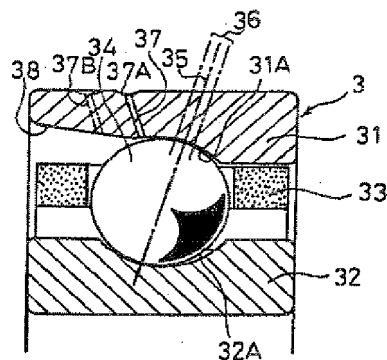
(2)項記載の高速回転用ころがり軸受。

## 図面の簡単な説明

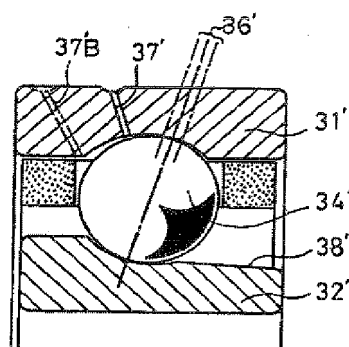
第1図は本考案の第一実施例の軸受を工作機械の主軸に組込んだ場合の縦断面図、第2図は第1図の軸受の拡大断面図、第3図は本考案の第二実施例の軸受の断面図、第4図は本考案の第三実施例の軸受の断面図、第5図は第4図の変形としてここに油溝を設けた場合のこの正面図、第6図は従来装置の縦断面図である。

31, 31', 31"……外輪、31A……軌道面、32, 32', 32"……内輪、34, 34', 34"……転動体、37, 37', 37", 37B, 37'B, 37"B……ノズル孔。

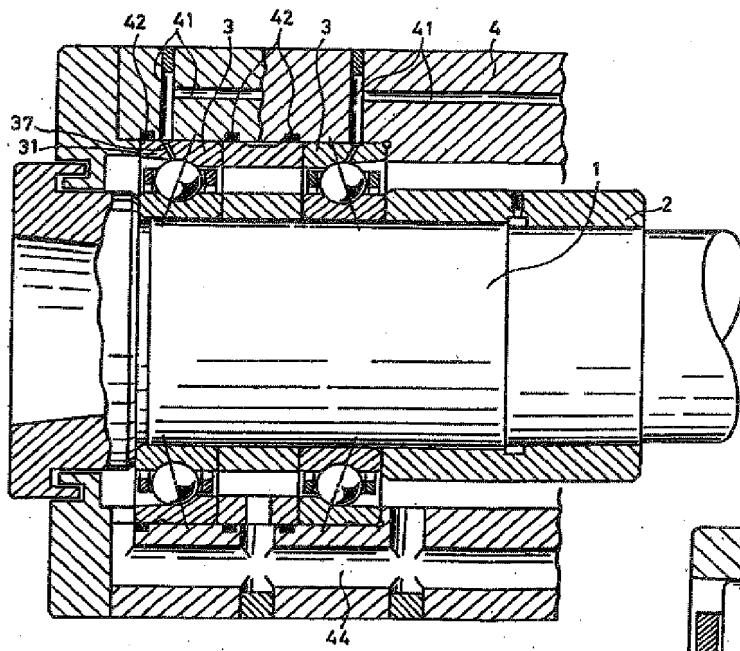
第2図



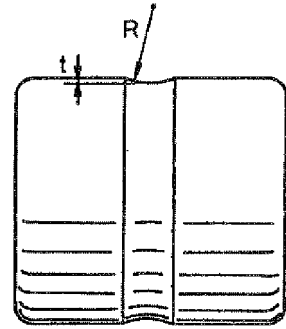
第3図



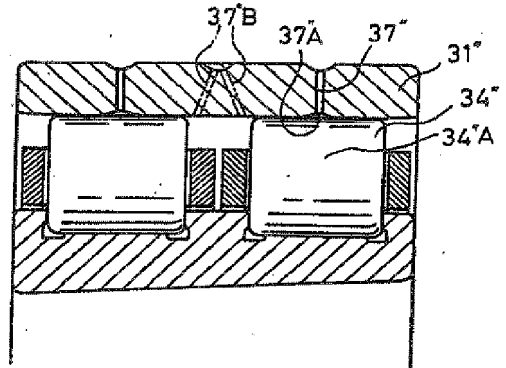
第 1 図



第 5 図



第 4 図



第 6 図

